

ビーチクリーン活動報告



4月15日（金）に建廃協青年部は神奈川県藤沢市の辻堂海岸にて、ビーチクリーン活動を行いました（参加人数8名）。当日は天気にも恵まれ、日差しも暖かい中、気持ちよく清掃しました。

2時間かけて清掃活動を行った結果、ゴミ袋24袋分のゴミ（可燃物12袋、不燃物12袋分）を回収することができました。清掃活動を行ってみて、多種多様なゴミが落ちていることに驚きました。中には注射針のような危険物も落ちており、子供達が踏んでしまったらと考えると背筋が凍る思いでした。

今回、清掃活動を行うにあたって、かながわ美化財団のHPをチェックしていると興味を引かれる記事がありました。「海岸のゴミ」は、ほとんど来遊客が残していったものと思われがちですが、実は全体の約3割でしかなく、残りの7割は川（街中）からやってくるとのことでした。そのため、「海岸が汚い」＝「社会全体が汚い」という関係性があることから、暮らす人ひとりひとりのマナーの問題が海岸の美化に繋がるとのことでした。



今後もスローガンである「ひろがれ、繋げよう『絆』我々に出来ること」をモットーにボランティア活動等を通して、身の回りの環境や社会に貢献できるよう、部員全員で努めていきたいと考えております。

最後になりましたが、この海岸清掃にご支援くださいましたかながわ美化財団の皆様、本当にありがとうございました。

レポート：(株)共同土木 高梨 智久

